

## 子育て支援～こども施設整備～

## ①安心と快適性を目指して 小学校・中学校・幼稚園の耐震補強・大規模改修

《学校施設課》 《幼児施設課》

小学校・中学校・幼稚園の校舎・園舎や体育館は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習や生活の場であり、豊かな人間性をはぐくむための施設です。また、災害時には、地域住民の緊急避難場所としての役割も担うことから、その安全性は極めて重要です。教育施設の老朽化が進む中、その安全性と良好な教育環境を確保するために施設整備を積極的に進めます。

■効果 ※設計に着手する事業の工事完了時の効果を見込んでいます。

【小学校】○22校の耐震工事がすべて完了します。  
○22校中12校のエアコン設置が完了します。

【中学校】○9校中8校の耐震工事が完了します。  
○9校中6校のエアコン設置が完了します。

平成23年度当初予算額 5億82万円  
平成22年度2月補正予算額 13億8,999万円

平成22年度当初予算額 7億9,994万円

■主要内容 ※校名の下線は、設計のみの実施。  
工事は平成24年度以後に行います。

＜耐震補強・大規模改修＞

【小学校】御園小、布引小  
【中学校】玉園中、永源寺中体育館  
【幼稚園】玉緒幼稚園、建部幼稚園

＜給食受け入れ工事＞

【小学校】八日市北小、御園小、布引小、湖東第二小  
【中学校】聖徳中、玉園中、船岡中、湖東中、朝桜中  
【幼稚園】八日市寺幼稚園、八日市野幼稚園、八日市幼稚園、中野幼稚園、市辺幼稚園、平田幼稚園

＜新築・改築工事＞

【小学校】八日市北小体育館  
【中学校】玉園中武道場、船岡中、永源寺中プール

＜エアコン設置＞

【小学校】御園小、布引小、湖東第二小、能登川南小、能登川北小  
【中学校】玉園中、船岡中、朝桜中

NEW

## ②市内通学路の総点検を実施 通学路を安全・安心な通学路に!!

《道路河川課》

平成23年度当初予算額 3,430万円

平成22年度当初予算額 2,500万円

小中学校の児童生徒が少しでも日々安心して通学できるように、通学路の安全点検を行い、交通安全施設整備を行います。

■主要内容

＜市道＞

道路外側線、センターラインの引き直し

歩道帯の確保

カーブミラーの設置

デリネーター、ポストコーンの設置

防護柵（ガードレールなど）の設置



NEW

### ③全幼稚園と全中学校で給食を（仮称）蒲生学校給食センターを整備

#### ＜学校施設課＞

本市では、すべての小中学校・幼稚園について安全で安心な学校給食を提供することとしています。

また、米飯施設を設け、市内産米による米飯給食を提供するとともに、食育の学習機能を備えた給食センターにします。

平成21年度の能登川学校給食センター増築に続き、平成23年度には2つ目の施設として（仮称）蒲生学校給食センターが完成します。

#### ■主な内容

（仮称）蒲生学校給食センター

○処理能力 6,000食

○構造 鉄骨2階建て

○延べ床面積 約3,000㎡

平成23年度当初予算額 7,815万円

平成22年度2月補正予算額 15億1,974万円

平成22年度当初予算額 1,422万円

#### ■効果

（仮称）蒲生学校給食センターからは、蒲生地区と八日市地区の一部に順次、給食を提供することを予定しています。

既存の各学校の給食室や給食センターと合わせて、幼稚園・小学校・中学校の完全給食の供給能力を持つことができます。

【中学校】平成24年から9校中7校で、平成25年からすべての中学校で給食を実施します。

【幼稚園】平成24年からすべての幼稚園で給食を実施します。

### ④安心して子どもを生み、育てられる環境のために

### 妊婦健診費用助成、不妊治療費用助成、子宮頸がん予防ワクチン等接種費用助成

#### ＜健康推進課＞

平成23年度当初予算額 4億5,207万円

#### ○妊婦健診費用の助成

妊婦健康診査を受けられる方に対して、健診費用の助成を行います。

健診(14回)分の受診券と妊娠中の諸検査の補助券を交付します。

平成22年度当初予算額 2億1,769万円

NEW

#### 不妊治療費用の助成

特定不妊治療を受けられる方に対して、治療費の一部を助成します。

50,000円/回(上限) 2回/年(初年度のみ3回) 5年間(計10回)助成

※滋賀県から助成を受けられた方に上乗せして助成します。

#### ○子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の助成

接種費用の9割を助成します。

※市民税非課税世帯及び生活保護世帯等の方は申請により接種費用を免除します。

#### ■主な内容

妊婦健診業務委託料 9,669万円

不妊治療費助成金 500万円

個別予防接種医療機関委託料 3億2,000万円  
(三種混合、二種混合、日本脳炎、麻しん風しん、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌他)



妊産婦にやさしい環境づくりを～  
「マタニティマーク」

## ⑤ 児童虐待防止、こどもの発達支援、不登校児童対策の充実

<<こども支援センター>>  
 <<発達支援センター>>  
 <<児童生徒成長支援室>>

平成23年度当初予算額 1,256万円

平成22年度2月補正予算額 255万円

平成22年度当初予算額 1,034万円

### ○児童虐待防止

児童虐待未然防止のためのCAPプログラムを引き続き行うとともに、経済苦によりライフラインやこどもの食料確保が難しいことが、児童虐待につながらないように緊急に生活物資の支援を行います。

### ○こどもの発達支援

新たに、発達に課題のある小学校高学年を持つ保護者を対象に、学習会を開催します。

### ○不登校児童対策

「こどもオアシス」を拠点に、不登校児童生徒の心を解きほぐし、生活意欲を高めて学校生活に復帰できるよう支援を行います。

### ■主な内容

【児童虐待】生活支援品購入費	75万円
【児童虐待】児童虐待未然防止業務委託料 (CAPプログラム)	136万円
【不登校】指導用備品購入	60万円
【発達支援】療育支援用備品購入	105万円

### ■効果

経済苦などから児童虐待に繋がらないように一時期ではあるがこどもの暮らしの安全を確保できます。

心身の発達に課題のある方に対して、乳幼児期から成人期まで相談支援を継続的に行うことができます。

不登校児童・生徒の居場所をつくり、自信回復につなげることができます。

## ⑥ 保育環境充実 幼保一体施設整備、民間保育所整備支援

<<幼児施設課>>

平成23年度当初予算額 3億8,312万円

平成22年度当初予算額 2,185万円

平成21年度末に策定した「幼・保・学童施設整備計画」に基づき、幼稚園・保育所を一体施設として整備します。

また、民間保育所の施設整備費の一部を助成します。

### ■主な内容

- 湖東幼稚園統合幼保一体化施設
  - 八日市野幼稚園・つつじ保育園幼保一体化施設
- 2億7,393万円

NEW

民間保育所施設整備費補助金 1億919万円



既に開園している幼保一体施設「ひまわり幼稚園」

# 地域医療の確立～中核病院整備～

## ⑦中核病院を整備し、地域医療の確立

◀地域医療政策課▶

平成23年度当初予算額 16億7,249万円

平成22年度当初予算額 8億1,934万円

市民の命を守る医療体制を確立するため、昨年策定しました「東近江市病院等整備計画」による中核病院（仮称）東近江総合医療センターを整備します。

現在 独立行政法人国立病院機構滋賀病院 220床



将来（仮称）独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター 320床

また、地域医療を維持するため、市立2病院の診療科目の確保に努め、安定経営にむけた負担金を病院事業会計に支出しています。

### ■主な内容

### ■効果

NEW

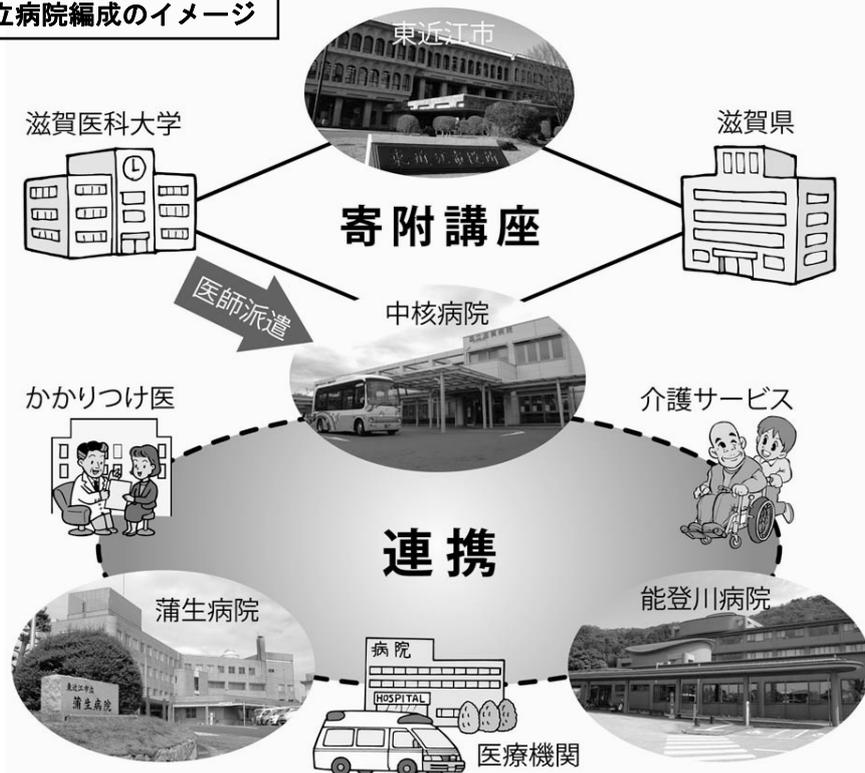
（仮称）東近江総合医療センター建設工事委託等  
5億8,736万円

病院事業会計負担金 10億5,000万円

中核病院の整備を進めることで、二次救急医療や小児科、周産期医療等、市で不足している診療科等の対応ができるようになります。

市立2病院も中核病院の後方支援施設としての方向を決定することで、切れ目の無い医療福祉の連携体制を確立させ、市民が安心して暮らせる東近江市にしていきます。

### 3公立病院編成のイメージ



## ⑧緊急車両が通行可能となり安心確保 垣見隧道整備に着手

＜都市整備課＞＜道路河川課＞

平成23年度当初予算額 7億1,073万円

平成22年度当初予算額 6億5,674万円

○都市計画道路「中学校線」 平成26年完成予定

JR能登川駅北側に位置する都市計画道路中学校線は、JR琵琶湖線との交差部が狭隘な隧道構造となっていることから、整備に向けて設計、用地測量を行います。

- ・事業延長 L=220m (内 隧道部32.4m)
- ・道路構成 車道2車線(3m×2+路側)および側道(歩道は現隧道の車道部を利用)

○垣見隧道整備の他、東近江道路整備計画マスタープランに基づき基幹道路の整備を進めます。

## ■主な内容

設計監理委託料	1億3,600万円
用地購入費	1億706万円
物件移転補償	7,249万円
工事請負費	3億3,900万円

## ■その他の基幹道路整備

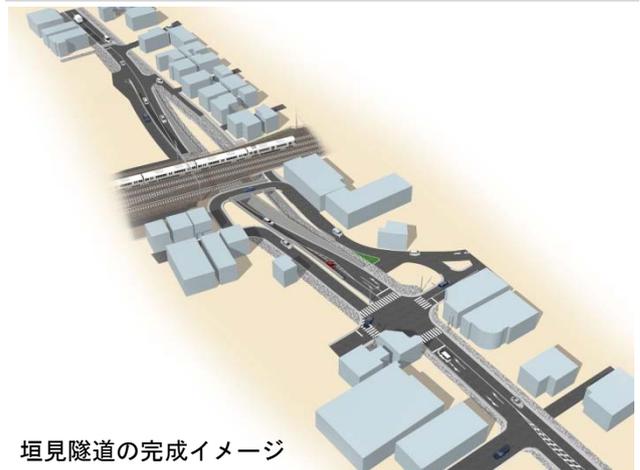
都市計画道路「小今建部上中線」(春日工区)

都市計画道路「小今建部上中線」(聖徳工区)

蛭谷君ヶ畑線、小幡竜田線、  
札の辻神田線、建部北金屋尻無線、  
稲荷線、能登川北部線

## ■効果

中学校線の整備により、緊急車両等大型車両の通行が可能になるなど住環境の改善が図れます。



垣見隧道の完成イメージ

## ⑨地域活性化の原動力 (仮称)蒲生スマートインターチェンジの整備推進

＜広域事業推進課＞

平成23年度当初予算額 7,682万円

平成22年度当初予算額 3,380万円

平成26年春の開通を目指して、(仮称)蒲生スマートインターチェンジの整備に着手します。西日本高速道路株式会社と滋賀県が実施主体となり平成23年度から整備が行われます。市は地元調整やインター周辺の環境整備を行います。

## ■主な内容

周辺施設等整備工事	550万円
用地購入費	6,326万円



(仮称)蒲生スマートインターチェンジ イメージ図

## ⑩「三方よし」の精神で クリーンエネルギーの活用

＜生活環境課＞

平成23年度当初予算額 2,083万円

平成22年度当初予算額 1,685万円

○環境にやさしい暮らし普及促進事業補助

平成22年度にひきつづき、地球温暖化防止と資源循環型社会を推進させる補助制度を統合して、補助金相当分を「太陽の恵み三方よし商品券」で交付することにより、地球環境保全と同時に地域経済の活性化も図っていきます。

- ・住宅用太陽光発電システム設置補助（1kWあたり2万円 上限10万円）
- ・エコ住宅普及促進補助（住宅版エコポイントの6分の1相当 上限5万円）
- ・住宅用雨水貯留施設設置補助（対象経費の3分の1 上限6万円）

■主な内容

環境にやさしい暮らし普及促進事業委託料  
1,850万円

■効果

近江商人の心得である「三方よし」の精神に則り  
売り手（商工業者：地域経済の活性化）よし  
買い手（市民：快適なエコライフ）よし  
世間（社会：地球環境の保全）よしの  
発想で地球環境と地域経済の共存を図ることができる。

## ⑪地域が支える仕組みで命をつなぐ 農林業の推進

＜農林水産課＞

平成23年度当初予算額 1億1,683万円

平成22年度当初予算額 7,660万円

○林業振興対策事業

地元産の木材利用について、住宅建築助成に加え、木製備品等の購入に対する補助を行い、木材の活用と林業の活性化を目指します。

○食育・地産地消推進事業

地場農産物の消費拡大を目指す制度づくりの検討を開始します。

○鳥獣対策事業

増え続ける野生鳥獣被害に対し、地域と協働し対策を進めます。

■主な内容

東近江市産木材利用促進事業補助金	150万円
間伐材利用促進事業補助金	80万円
地産地消推進事業補助金	150万円
鳥獣捕獲業務委託料	1,500万円
鳥獣被害防止総合支援事業補助金	7,250万円



牛を放牧し、獣害対策

## ⑫都市と農村の交流 農林漁業体験の受け入れ推進

### 《商工観光課》

平成23年度当初予算額 4,409万円

平成22年度当初予算額 3,909万円

都市部の児童・生徒が農山漁村に滞在し、農林漁業体験や宿泊を通して地域の自然や人々と関わることは、こどもたちの人格形成に大きな効果をもたらします。この教育旅行の受け入れは、受入れ家庭とこどもたちの間に深い交流と大きな感動をもたらし、それが地域の活力を高めることにもつながっていきます。

この農山漁村での体験と民泊の受け入れを市内で行うため、母体となる協議会を設立し積極的に推進します。

### ■主な内容

東近江体験交流型旅行協議会補助金	100万円
印刷製本費（パンフレット）	130万円
観光イベント補助金	950万円
観光協会補助金	1,750万円
東近江観光振興協議会負担金	108万円
地域活性化事業補助金	1,119万円



農林漁業体験受け入れの様子

## ⑬石樽トンネルを活かした地域づくり 奥永源寺地域の振興

### 《企画課》

平成23年度当初予算額 687万円

平成22年度当初予算額 549万円

### ○奥永源寺振興計画策定

今春、国道421号の石樽トンネルが開通し、人や物、情報の交流が盛んになることが期待されます。このため、道の駅の整備と政所茶をはじめとした産業の振興、豊かな自然環境を活かした景観づくりなど、道の駅を核とした奥永源寺の地域資源を活用したまちづくりを考える「奥永源寺振興計画」を策定します。

### ■主な内容

奥永源寺振興計画審議会委員報酬	34万円
奥永源寺振興計画策定委託料	150万円



第1回奥永源寺振興計画審議会の様子

## ⑭地域特性に応じたまちづくりのために まちづくり協議会を支援

《まちづくり推進課》

平成23年度当初予算額 2,913万円

平成22年度当初予算額 2,704万円

### ○まちづくり協議会支援

まちづくり協議会の運営に対して助成するとともに、自立した協議会をめざして14協議会の更なる組織のレベルアップを行うための調査研究活動に対して支援を行います。

### ○地域活動支援事業

まちづくり協議会及び市民活動団体が自主企画して実施する地域活動事業に対してその経費の一部を助成します。

- ・まちづくり協議会活動支援 1地区につき70万円を限度
- ・市民公益活動支援 1団体1事業、1事業につき30万円を限度

### ■主な内容

まちづくり協議会連絡会補助金	75万円
まちづくり協議会交付金	1,869万円
地域活動支援補助金	940万円

### ■平成22年度実績

地域活動支援補助金	
まちづくり協議会活動支援	29件627万円
市民公益活動支援	6件100万円



まちづくり協議会交流会の様子

## ⑮道普請の精神で地域住民が団結 生活道路・河川改修資材支給

《道路河川課》《農村整備課》

平成23年度当初予算額 2,808万円

平成22年度当初予算額 200万円

○生活道路環境整備補助金 事業費150万円以下の8割以内を助成  
自治会が実施する地元道路整備に対して助成を行います。

○水辺空間整備補助金 事業費150万円以下の8割以内を助成  
自治会が実施する河川改良整備に対して助成を行います。

○建設資材支給補助金 上限100万円  
地域住民が自らの手で行う「道普請」等に対して建設資材の助成を行うことで、地域住民の一体感とつながりを醸成します。

### ■主な内容

生活道路環境整備補助金	1,800万円
水辺空間整備補助金	750万円
建設資材支給補助金	200万円
農道補修用資材の支給	58万円

清水川改修の取り組み

